



第35号

令和四年三月十八日発行
松山中央高校家庭クラブ



家庭クラブ活動を通して

校長 水田 寿

校長室には、生徒会誌「中央」が、創刊号から保管されています。第八号（平成七年三月三十一日発行）では、当時の家庭クラブ会長が「未来の社会に向かって」と題して、家庭クラブ活動を紹介していました。その中で、「平成六年度四月から、家庭クラブに男子生徒が加わりました。これは家庭科が、男女共修となったからです。」「共働きの家が多くなつた今、男女お互いが助け合い、支えあって、家庭を守つていかなければ、良い家庭を築くことはできないと思います。」と書いてありました。続けて、「家庭クラブ活動は、将来家庭を築いていく私達にとって、とても大切な活動です。」「参加して、自分から積極的に活動してみると、私生活において今まで気づかなかつたことや、見逃していたことなど、新たに発見することが多くて、とても意義のある活動だと思ふのです。」「そして、「活動によって得た、心の温もりで、冷め行く世の中を、温めて行きましよう。」と締めくくっていました。

令和四年を迎え、家庭科が男女共修になつてから二十七年ほどが経過したにも関わらず、当時の会長が残した言葉は、今なお大切な言葉として、私たちの心に響いてきます。

家庭は、最も小さく、最も身近な社会

だと思ひます。それぞれの家庭にはルールがあり、そのルールを家族全員が守りながら、お互いを尊重し、お互いに助け合い、お互いに高めあい、日々の生活を送っています。そして、基本的な生活習慣を身に付け、規範意識を育て、いづれ、パートナーと生活をするための準備をするのです。

そういう大切な家庭を作るには、まずはパートナーがお互いに尊重しあい、助けあい、協働することが求められます。生徒の皆さんには、家庭科の授業を通して、自分が考える理想の家庭を作るためには、自分自身がどのような人になり、どのような生活をしていけばいいのかを考え、実践してもらいたいと思ひます。その機会の一つが家庭クラブ活動です。家庭クラブが計画し、取り組んでいる様々な活動に、主体的に、積極的に取り組んでほしいと思ひます。

私は、今年年男です。昨年末に、美術部と書道部の生徒たちが、椿神社に今年度の干支の寅の絵馬を奉納しました。見たことがない人はぜひ見に行つてください。素晴らしい絵馬が奉納されています。そして、家庭クラブの皆さんからは、干支の寅のマスコットをいただきました。とてもかわいひ寅のマスコットで、見てみると、こちらと思わず笑顔になります。

た。今、校長室に飾っています。家庭クラブの一つ一つの活動を通して、多くの人々を笑顔にしています。そして、その笑顔を見ることで、皆さんもきっと笑顔になると思ひます。
素敵な家庭は、きつと笑顔が絶えないことでしょう。皆さんも、家庭クラブの活動に参加して、たくさん笑顔に包まれて、幸せな時間を過ごしてもらいたいと思ひます。

会長挨拶

二年六組 澄川 千夏



私は家庭クラブ会長として、この一年間活動してきて、自分自身大きく成長できたように思ひます。家庭クラブ会長になったばかりのころは、どう立ち回ればよいか分からず戸惑つてしまうことも多かつたけれど、家庭クラブ役員や先生方に支えていただき、だんだんと仕事をこなせるようになりました。そして、様々な活動において先頭に立ち、周りを引っ張つていく中で、会長としての責任感やリーダーシップを身に付けることができましたと思ひます。
今年度の家庭クラブの活動の中で、特に強く印象に残つているものは、オンラインで開催された家庭クラブ中予支部研究協議会です。学校ごとに特色のある活動を行つていくことを知り、自分たちの活動をよりよくするためには、また自

分の暮らす地域を盛り上げるためには、どうすればよいかを考える良い機会になりました。家庭クラブ活動を通して、たくさんの人と関わつたことで、コミュニケーション能力が身に付いたように感じます。
二年間の家庭クラブ活動で得た貴重な体験を、これからの学校生活、これからの人生に生かしていきたいです。

令和三年度役員紹介



- 後列右から
会計 渡部 呼愛
監査 家久 楓梨
- 前列右から
書記 崎山 快
会長 澄川 千夏
副会長 山崎まりあ
書記 児玉たつき
- 監査 高岡 凱経



中予支部研究協議会

二年九組 山崎 まりあ

今年度の中予支部研究協議会はオンラインで行われ、各校から役員の代表者三名が参加しました。私自身、オンライン会議というものは初めてで、最初は緊張していたのですが、温かい雰囲気のおかげで、すぐに場になじむことができました。

今年度の協議題は三つありました。中でも私が一番関心を持ったのは「エコフレンドリーな生活を目指してPart2」<マイエンザプロジェクト in大洲>と題した、大洲高等学校家庭クラブの研究発表です。私がこの発表で一番驚いたことは、地域と一緒に活動して、環境保全を行っていたことです。私たちの学校でも、川の清掃活動など、地域での活動を行っていきたいと思いました。

他にも、「コロナ禍における交流活動の実践例」や「コロナ禍での家庭クラブ活動」について話し合いました。コロナ禍だからこそ、私たち家庭クラブではどのように活動してよいかと役員で悩むことも多いです。どの学校も同じように悩みながらも、様々な工夫をして活動を行っていました。多数の学校の様子を知れたことは良い参考にも、刺激にもなりました。それから、みんな積極的に手を挙げて発表をしていて、私たちも当ててもらおうと一生懸命アピールをしまし

た。なかなか二回目を当ててもらえなかったけど、活発な意見交換ができてとても充実した会になりました。

松山聾学校との交流会

二年九組 崎山 快

今年度は松山聾学校に訪問して、交流を行いました。感染症対策によって制限されることも多かったのですが、交流から様々な発見をすることができました。

松山聾学校に着くと、高等部の皆さんが私たちに手作りの名札を用意してくださっていました。名札を付けていたのだ後に、皆さんとお互いに手話で自己紹介をしました。慣れない手話だったのですが、ジェスチャーを交えつつ、伝えることができました。その後には、口の動きで言葉を伝えたり、口の形を見て言葉を理解したりする「口話」を体験できるゲームをしました。私が読み取ることができても、いざ伝える側になってみると、とても難しかったです。今、常にマスクをしている状況になって、耳の不自由な方々が読唇術という一つのコミュニケーションツールを使えないのは、とても不便なことであることを体感しました。その後、松山聾学校内を見学させていただきました。私たちが音で得ている情報を音以外の方法で伝える仕組みがいたるところにあって、新しい発見をすることができました。最後に、松山中央

高校の校歌を手話で歌いました。松山聾学校の皆さんが歌詞の意味を読み解いて、簡単な手話にしてくださいましたので、私たちでも簡単に歌うことができました。

今回の交流会を通して、耳の不自由な方が特別ではないことを改めて知ることができました。私は小学校一年生の時に、初めて耳の不自由な同級生に出会いました。今回の交流会でその子に再会し、

いろいろと教えてもらいました。聴

力だけでなく、身体に何らかの不自由のある人がいますが、その人にとっては、それが「普通」であって、日常です。今回の交流会では、そのような部分も感じることができた良い経験になりました。この経験を今後の生活にも役立てていきたいと思えます。

三校役員交流会

一年六組 渡部 呼愛

松山工業高校・松山南高校との三校の役員が集まり、交流会を行いました。交流会では毎年、講習会なども行っていて、今年の当番は松山中央高校だったので、写真立てのデコレーションを行うことにし、準備をしました。

各校から一名ずつの三名で班になりました。違う学校の人たちがばかりの班なので、はじめは緊張しましたが、しだいに打ち解けて、かなり仲良くなることができました。写真立てのデコレーションは、作り方はとても簡単ですが、センスが重要になってきました。フレームを縦向きにするか、横向きにするか、色合いやテーマを考えるだけでもワクワクしました。班の人に意見を聞いたり、他校の先生からもアドバイスをいただいたり、各校でどんな活動をしているかを見交換したりしながらの制作は、いつもの講習会とは違う楽しさがありました。校内の講習会であれば、仲の良い友達や役員のみなど行いますが、三校交流会では初めて出会った人とのようにして距離を縮めるかとても悩みました。でも、勇気を出して話しかけると、仲良くなることができ、他校の様子や家庭クラブ活動についても知ることができました。私は交流会に参加し、他校の役員さん



との制作を通して、授業や校内の講習会とは違う楽しさを味わうことができ、とても良い経験ができました。交流会に参加することができてよかったです。



乳児院の運動会の飾り作り

一年七組 家久 楓梨

私が家庭クラブで楽しみにしていた活動の一つに、乳児院の子供たちとの触れ合いがありました。しかし、今の社会情勢の中では、小さな子供たちと直接に触れ合うことは難しく、代わりに運動会の飾りをプレゼントすることにしました。4人グループになって、それぞれのグループでトラやカエルなどの動物の飾りを制作しました。みんなで協力し

ながら、自分たちの作ったものを喜んでくれるかと想像しながら作ることは、私自身も楽しい気分になることのできる貴重な体験であったと感じています。今はコロナ禍で思うように活動することができず、いろいろな行事が縮小されたり中止になったりしています。そのような中でも、私たちの作ったもので、少しでも子供たちの気持ちが晴れやかになってくれればと願いを込めて作ることができました。この気持ちが伝わり、子供たちの運動会が素敵な思い出の一つになってくれたらよいと感じています。いつの日にか、直接子供たちと触れ合うことができるようになり、たくさん思い出や経験ができるようになることを願っています。



年賀状・干支のマスコットのプレゼント

一年八組 高岡 凱経

年賀状と干支のマスコットを作ったプレゼントする活動は、とても良いことだと思いました。私たち一年生は、年賀状を描きました。とても上手な人がいて、すごいなと思いました。僕のはあんまり上手ではないけれど、和光苑の方に喜んでもらいたくて、一生懸命に描きました。他にもたくさんの方が一生懸命に描いていました。干支のマスコットは二年生が作ったそうです。とても上手にできていました。和光苑へ渡しに行った友人から、とても喜んでもらえた聞いて、嬉しくなりました。頑張って作って良かったと思いました。

来年は干支のマスコットを作りたいと思います。できれば積極的に案も出していきたいと思います。みんなが良いものを作って、できれば来年は直接渡しに行けたらいいと思います。

手作りのものをプレゼントするのは、とても良いことだと改めて思いました。一生懸命作ったからこそ、喜んでいただけるときに、渡した側の自分たちも嬉しくなるのだと思いました。この活動をずっと続けて、和光苑の方々も、後輩のみんなも幸せにしていければいいと思いました。



講習会

ハーバリウム作り

二年四組 児玉 たつき

今年度最初の講習会は、ハーバリウム作りでした。ハーバリウムとは、植物学において「保存された植物標本の集積」を指します。講習会では、インテリア装飾性の高いガラス瓶やプラスチック容器とハーバリウムオイルなどを用いて、鑑賞目的のハーバリウムを制作しました。出来上がったハーバリウムは多種多様で、作り手によって無限大の可能性を秘めていると思いました。

私は、海底をイメージしたハーバリウムを作りました。貝や砂、海藻を思わせる小さな花を入れて、ただきれいなだけのハーバリウムではなく、色彩から得る



楽しさも感じられるものを目指しました。しかし、そう簡単にできるはずがありません。色合いやパーツの数などを調整し、イメージ通りに作るのには、思いのほか時間がかかりました。とはいえ、班の人と話をしながら作ったので、楽しかったです。

時間と材料があれば、家でもまた作ってみたいなと思いました。テーマを決めて、自分が思うように作るのにはやはり楽しいものです。細かな作業が不得手な人もいると思いますが、きっと楽しめると思います。

ビーズアクセサリーとミサンガ作り

一年二組 大西 倅太

今年の中央祭で、家庭クラブはビーズアクセサリーとミサンガの講習会を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年とは異なる形での開催でした。当日、参加者がいるか心配でしたが、多くの人が参加してくれたおかげで、私たち家庭クラブ委員も楽しく活動することができました。

ミサンガは、色や身に付ける場所によってそれぞれ意味があり、願掛けをする場合は特に役立つそうです。参加した人たちも何かお願いをしながら作っていたのかもしれない。少し時間がかかるので、完成できなかった人は帰って帰りました。きれいに仕上げるのはコツがいり、とても難しかったです。

が、みんな、きれいに作っていました。

ビーズアクセサリー作りは使いたいビーズを選んで、ひもに通して結べば完成です。ビーズは、虹色のものやメタリックなもの、透明なものなど、たくさん種類が用意してあって、選ぶのに迷っている人がたくさんいました。選んだビーズを

運ぶときに床にばらまいてしまう人も何人かいました。僕も係の仕事しながら作りました。気に入ったアクセサリーが出来上がって、とても楽しかったです。家庭クラブ委員としての参加は今年が初めてでしたが、とても良い活動になりました。来年、家庭クラブ委員でなくても、中央祭の講習会に参加しようと思いました。

オートミールクッキー作り

一年五組 宮内 栞

初めて講習会に参加しましたが、とても楽しかったです。班のみんなと協力しながら、効率よく、作り方通りにできました。授業で作ったクッキーとはまた違ったクッキーで、異なる工程で作るのが楽しかったです。ジョシユア先生から本場カナダのオートミールクッキーの大きさを教えてもらって勉強になりました。講習会に参加して、いろいろなことを知れたので、また参加してみたいです。

二年四組 寶田 凜香

クラスの友達と一緒に料理ができて、とても楽しかったです。ジョシユア先生とも英語で楽しく会話ができて、カナダの様子、オーブンやクッキーの大きさなどを教えてもらって勉強になりました。今度参加するときは、ジョシユア先生とも話せるように、調理用語も覚えておきたいです。

月	日	活動内容
4	中旬 16 22	家庭クラブガイダンス 委員会・役員会 家庭クラブ総会
5	7~13 12~ 26・27	家庭クラブ週間 カーテンの洗濯・修繕 講習会①「ハーバリウム作り」
6	~10 9	カーテンの洗濯・修繕 中予支部研究協議会(オンライン開催)
7	9~12 19	ペーパーホルダーの洗濯・修繕① 松山聾学校との交流会(松山聾学校・役員)
8	18	ホームプロジェクト実施 第68回愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会(リモート開催)
9	6	運動会受付接待(中止)
10	12	乳児院の運動会の飾り作り
11	上旬 上旬~ 6	愛媛県ホームプロジェクトコンクール応募 干支のマスコット製作の準備 三校役員交流会(松山南高校・役員)
12	1 10~13 中旬 24	講習会②ジョシユア先生と一緒に 「オートミールクッキー作り」 ペーパーホルダーの洗濯・修繕② 干支のマスコット・年賀状制作 老人ホーム「和光苑」訪問
1	下旬 20~31	新聞「つばきの」編集開始 家庭クラブ週間②
2	下旬	新聞「つばきの」編集・校正
3	11 18 18	講習会③「透明のしおり作り」 新聞「つばきの」35号発行 テーブルマナー講習会(中止)
年間の活動		家庭クラブ委員会・役員会 書き損じハガキ・古切手・使用済みプリンタインク・トナーの回収
今年度は「乳児院訪問」「石井児童クラブ半日ボランティア」は中止(計画なし)になりました。		